

【実施指針の改訂版（本文）についての意見】

◎ 日本国内の貧困・格差への言及について

国内の貧困・格差の問題はSDGs推進において大きなテーマである。実施指針の本文中（序文）にある「貧困・格差」への言及は、「言及した」に過ぎないレベルである。

国内の貧困・格差の問題について、「2. 現状の分析」において記述をし、取り組むべき優先的な課題であることを明記するべきである。

◎ 理念と啓発をこえた「具体的な指針」であるべき

2030年までの3分の1の工程をすでに経過しており、SDGsの達成に向けて具体的に施策を「実行」していく段階。

まず、2030年までのロードマップを策定するべきだがそれがない。各ゴール・ターゲットの達成に向け、具体的な政策導入をおこなうべき。数値目標や具体的な目標達成へのプロセス等の記載が必要ではないか。

◎ グローバル指標を活用した国内施策の推進について

グローバル指標や日本独自の指標の活用により実施されるSDGs推進のための施策等が適切に予算化されるような具体的な記述を入れるべきではないか。